

令和 8 (2026) 年度下都賀地区初任者研修会（授業研究）を開催しました。

令和 8 (2026) 年 6 月 25 日（木）実施
下都賀教育事務所 学校支援課

I 研修の目的・内容等

（1）目 的

新規採用教員に対し、先輩が行う授業の参観や授業研究会等を通して、教科等の指導に関する研修や指導上の諸問題についての協議を行い、教員としての指導力と資質の向上を図るとともに、管内新規採用教員の相互交流を図る。

（2）会 場

- 小学校会場 栃木市立大平東小学校
栃木市立大平西小学校
- 中学校会場 栃木市立大平中学校

（3）内 容

- 趣旨説明及び諸連絡
「授業の見方と学習指導について」 下都賀教育事務所 学校支援課 担当
- 授業参観（教科）
- 授業研究会（班別研修）

2 本研修で確認したこと

（1）学習指導

（「令和 8 (2026) 年度 とちぎの教員 15（いちご）研修資料」 p14

「令和 8 (2026) 年度版 下都賀地区学校教育の重点」 p6・p9 より）

- 学習指導は、教師の生命ともいえるべきものである。
- 授業をいかに行うかは、教師にとって最も重要な課題である。
- 児童生徒一人一人が自分のよさを生かして、主体的に課題を解決し、豊かに成長することができるよう、教師は常に創意工夫に努める。
- 教師が教え込むスタイルの授業ではなく、児童生徒の活動を重視し、児童生徒一人一人を主体とした授業の実践に努める。
- 実践を通して、生涯にわたって学び続ける児童生徒を育てていく。
- ねらいを明確にした分かる授業づくりのために、ねらいの提示の仕方を工夫し、ねらいを基にした振り返りの充実を図ることが大切である。
- 言語活動を取り入れる目的を明確にし、その充実を図る。
- 「学業指導」の充実
 - ・ 学びに向かう集団（学級）づくり
 - ・ 子どもが意欲的に取り組む授業づくり



3 本研修で学んだこと(研修者が記入した「研修の振り返り」から)

- ・ 開講式での「学習指導が命」という言葉を受け、今後も学習指導を教育活動の核として大切にしながら、児童一人一人が自分らしさを発揮し、着実に成長していけるよう、教師として支援していきたいと思いました。
- ・ ねらいを明確にした授業の大切さについて改めて考える機会になりました。ねらいをしっかりと提示することで、その時間のゴールや目標が明確になり、その後の活動に目的意識をもってより真剣に取り組めることが分かり、とても勉強になりました。また、児童の生活により近い課題を設定することで導入から児童の興味・関心が高まり、流れもスムーズになっていたように感じました。
- ・ 参観授業や授業研究会を通して、生徒の実態を生かした授業づくりを行うことが重要であると確認することができました。生徒の実態について多面的、多角的な視点で捉えることで、一見マイナスに思える実態であっても、教師の捉え方や働きかけ次第で生かすことができると分かりました。
- ・ ねらいを明確にした授業展開や教師の関わりや働きかけ・学級経営の二つの視点で授業を参観させていただきました。ねらいを明確にした授業については、単元を通したゴールを決めることや逆算した授業づくりが重要だと学びました。目の前の授業のことで精一杯ですが、もっと先を見て、単元が終わったときの子どもたちの姿まで想像した上で授業づくりをしていきたいと思いました。
- ・ 普段は数学を教えています、理科の授業を参観し、いつもとは違った視点で授業を見ることができました。他教科ならではの特性もあり、数学の授業に活かすことができそうだと感じた部分が多くありました。生徒指導に関する講話では、自己指導能力を身に付けさせることの大切さを改めて理解しました。特別支援教育の視点に立った生徒理解については、特別支援学級だけでなく通常の学級でもその視点をもって必要があることを学びました。
- ・ めあてを児童が考えるような形で展開していたところが印象的でした。めあてにしたいキーワードが児童から出てくるのは、導入で既習事項について触れていたからだと思いました。めあてを一方的に提示するのではなく、児童が自分たちで立てたと思えるようにし、児童が授業の主役は自分だと実感できるようにしていきたいです。また、話合いの際には、ただ話し合わせるのではなく、意見を伝え合った後のことや、伝え合う方法・聞き方等も指示することで、児童が進んで話し合い、交流しながら学習を深めていて、大変勉強になりました。
- ・ 国語の授業を参観し、発問の工夫や、児童同士で考えを共有する場面について学ぶことができました。教師の言葉掛けによって、児童が主体的に考え、学びを深めている様子がとても勉強になりました。今回学んだことを自分の授業でも取り入れ、児童が安心して考えを伝え合える授業をつくっていききたいと思います。
- ・ 今回の研修を受けて目標と指導と評価の一体化の重要性を学ぶことができました。授業をこなすのではなく、最終的に児童がどのような姿になってほしいのか、この時間では何ができるようになっていけばよいのかを考えながら教材研究や授業を行っていききたいと感じました。
- ・ 養護教諭としての心構えや日々の業務について学ぶことができました。特に、誠実かつ丁寧な対応を心掛けることや、生徒が他の教職員には見せない姿を受け止めることの重要性が印象に残りました。また、日々の悩みや困り感を共有する中で、新たな視点や対応のヒントを得ることができ、大変参考になりました。今回学んだことを今後の実践に生かし、まずは日常業務を丁寧に積み重ねながら、生徒や教職員から信頼される養護教諭を目指していきたいと思っています。

